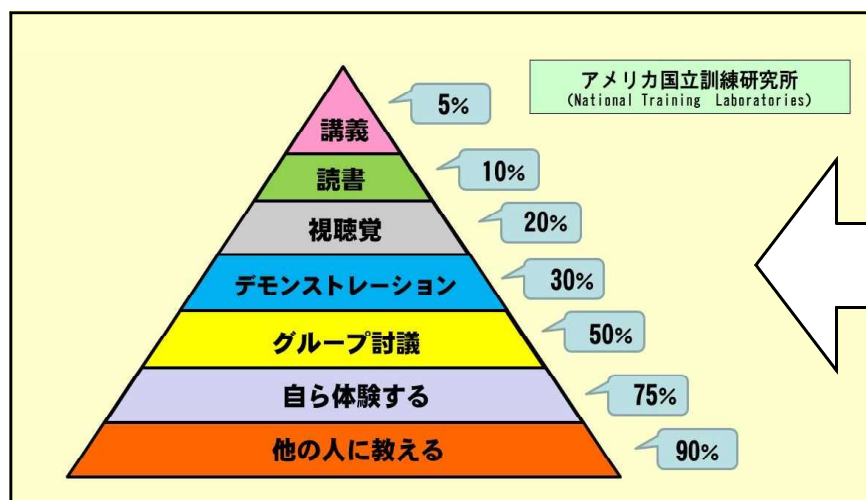




ラーニングピラミッドを知っていますか？



ラーニングピラミッドとは、複数の学習方法を学習定着率の高い順に並べ、ピラミッド状で表現したものです。公教育での基盤となる指導方法である、講義形式の学習から、他者に教えるという学習方法までの7段階があります。

ラーニングピラミッドでは、下に表記されているものほど学習定着率が高いとされています。（右にある数値はその根拠を示す、科学的な論証が見つかっていません。あくまで仮定として捉えられているものです。）つまり、自発的・能動的な活動の方が定着しやすい、というわけです。

それぞれの学習方法について見てみると、下のように分けることができます。

講義（話を聞く）
読書（書籍や資料を読む）
視聴覚（ビデオなどを見る）
デモンストレーション
（実際にやっているのを見る）

受動的な学習

「自ら知識を得る興味関心と意欲、
集中力が大事！」

グループ討論（班での話し合い
ディベート）
自ら体験する（体験型学習）
他の人に教える
（インプット→アウトプット）

能動的な学習

「人間関係の築き方や
積極性が大事！」

定着率が高いから、下の学習方法の方が「良い学習方法」か、ということではありません！以前インプットとアウトプットの話を書きましたが、バランスが大事なのであって、両者とも必要不可欠です。もし、グループ活動や体験型学習ばかりをやっていたら、勉強が苦手な生徒は自信をなくしてしまうかも知れません。逆に講義型学習ばかりだと意欲の低下につながりかねません。偏ることなく学習内容に合わせた方法を選択することが大事だと思います！



授業風景から
紹介します

3年3組 国語（10月3日）

森鷗外「高瀬舟」



全員で話を聞く場面、
周りの生徒と意見を交換
する場面、同じ意見の生
徒同士でのグループ分け
など、活動形態が工夫さ
れていました。



生徒たちは、活動形態
や内容によって、人の発
表をしっかり聞いたり、
自分の考えを発表したり
することが立派にできて
いました。



1年2組 国語（10月18日）

書写「鉛筆の持ち方」



お互いに普段自分が鉛
筆をどのように持っている
か、チェックをして、
持ち方についての注意
点を確認することで、本
時の課題を意識させまし
た。



鉛筆にクリップをはさ
み、正しい持ち方で書く
練習をしました。
先生や友達との対話は
元気よく、練習は集中し
て行えました。

